

市議会

宇佐市議会広報紙

第 82 号

令和7年8月25日発行
発行／宇佐市議会
直通:0978-32-2328
Fax:0978-32-1437



第一展望所の展望デッキから周防灘を眺める

自然と歴史や文化財を楽しめる横山の郷トレッキングコース

「横山の郷トレッキングコース」は、令和2年度に横山地区まちづくり協議会が横山の自然と歴史や文化財に親しみながら健康増進に役立ててもらおうと整備しました。

横山地区一帯に残る横穴墓群と国の重要文化財に指定された塑像三尊仏そどうさんぞんほとけが発見された天福寺奥の院を結び、全体的には標高約 200 mほどの尾根伝いを歩く約 4.1 kmのコースで、子どもから高齢者まで誰でも気持ちの良いトレッキングを楽しむことができます。

写真の第一展望所の展望デッキからは中津方面や周防灘の眺望が楽しめ、天津の沖には、かつて宇佐海軍航空隊が目標にしたという「標的」も見えます。また、澄み切った天気の良い日には山口県宇部市の工場や煙突からたなびく煙も見ることができます。

(川谷正一)

5 月 臨 時 会

新たな議会構成が決まる

6 月 定 例 会

令和7年度宇佐市一般会計補正予算(第1号)など可決・同意

スマホも対応!

議会ホームページ

宇佐市議会

検索

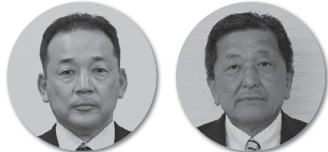
《 目 次 》

5月臨時会・6月定例会の概要、議会の審議結果……………	P. 2～3
6月定例会の一般質問……………	P. 3～11
高校生議会ほか……………	P. 11
各種委員会委員の構成ほか……………	P. 12



5月臨時会～新正副議長が決定～

議長に永松郁氏、副議長に河野睦夫氏



副議長 河野 睦夫



議長 永松 郁

今回の補欠選挙で、新たな20名による議会が発足、5月13日に選挙後初の議会を開催しました。
本会議では、正副議長選挙が行われ、議長に永松郁氏、副議長に河野睦夫氏の就任が決定しました。
また、議会運営委員会や各常任委員会等（紹介は最終ページ）の委員構成が決定しました。

【議長・副議長就任のあいさつ】

このたび議員各位にご推挙いただき、宇佐市議会の第11代議長・第12代副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、改めて責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

さて、本市においても、物価高騰により、市民の皆さまの日常生活や経済活動に影響が生じております。

私も宇佐市議会も、議員一同、二元代表制の一翼を担う議会の果たす責任や役割を再認識し、市政の重要な課題はもとより、市民生活の身近な課題につきましても、議会において十分議論を尽くし、市民の皆さまの付託にお応えすべく、更なる努力をしてまいります。

議会広報紙「うさ議会」は、議会活性化特別委員会委員8名が、議会に関する情報を的確かつ親しみやすい紙面に編集してお伝えしてまいります。今後とも愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

市民の皆さまの議会に対するご理解とご協力、ご鞭撻をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

《宇佐・高田・国東広域事務組合議会議員》

永松 郁 辛島 光司 川谷 光紹
吉田 泰秀 水脇 純一 多田羅 純一

《大分県後期高齢者医療広域連合議会議員》

水脇 純一

【人事案】

《監査委員（議員選出）》

辛島 光司

6月定例会の概要

会期6月17日～7月9日 23日間

令和7年6月第3回定例会が開かれました。市長から提出された議案9件（予算案1件、条例案2件、その他議決案6件）を原案のとおり可決・同意しました。
また、請願書2件を採択、意見書案2件を原案のとおり可決しました。

【本会議第1日】（6/17）

- ① 議案等の上程及び説明
選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙
特別委員会の設置
特別委員会委員の選任
議案の上程、提案理由の説明、質疑・討論・採決

【本会議第2～5日】（6/24～6/27）

- ① 一般質問
【本会議第6日】（7/1）
議案質疑
議案等の委員会付託
- ② ① 委員会の審査報告と質疑・討論・採決
追加議案3件の上程、提案理由の説明、質疑・討論・採決
- ③ 意見書案2件の上程、提案理由の説明、質疑・討論・採決
- ④ 特別委員会の設置
特別委員会委員の選任
閉会中の継続審査、調査

【人事案】

《宇佐市副市長》

松原 弘之 氏

《宇佐市教育委員会教育長》

射場 誠治 氏

《宇佐市教育委員会委員》

小野 裕美子 氏

《宇佐市固定資産評価員》

山田 和幸 氏

令和7年5月第2回臨時会の議決結果

○議案

（※印は全会一致でない議決）

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第 24 号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市税条例の一部改正）	総 務	原案承認
議第 25 号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市都市計画税条例の一部改正）	総 務	//
議第 26 号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市税特別措置条例の一部改正）	総 務	//
議第 27 号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市国民健康保険税条例の一部改正）	文教福祉	※ //
議第 28 号	宇佐市監査委員の選任について	付託省略	原案同意
議第 29 号	宇佐市公平委員会委員の選任について	//	//
議第 30 号	宇佐市監査委員の選任について	//	//

○全会一致でなかった採決結果

議案番号	松原 仁	秀平信介	園田経人	川谷正一	水脇純一	河野洋一	岡部輝明	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	川谷光紹	多田羅純一	河野睦夫	衛藤義弘	辛島光司	今石靖代	大隈尚人	中村明美	衛藤博幸	永松 郁
議第 27 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長

原案に賛成：○ 原案に反対：×

令和 7 年 6 月 第 3 回 定例会 の 議 決 結 果

○議案

(※印は全会一致でない議決)

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議第 31 号	令和 7 年度宇佐市一般会計補正予算（第 1 号）	各常任委員会	原案可決
議第 32 号	宇佐市国民健康保険税条例の一部改正について	文教福祉	//
議第 33 号	宇佐市介護保険条例の一部改正について	文教福祉	//
議第 34 号	宇佐・高田・国東広域事務組合規約の変更について	総 務	//
議第 35 号	第二次宇佐市総合計画「基本構想」及び第二次宇佐市総合計画「後期基本計画」の計画期間の変更について	総 務	//
議第 36 号	宇佐市副市長の選任について	付託省略	原案同意
議第 37 号	宇佐市教育委員会教育長の任命について	//	//
議第 38 号	宇佐市教育委員会委員の任命について	//	//
議第 39 号	宇佐市固定資産評価員の選任について	//	//

○請願書

番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願第 1 号	西大堀地区クリーンセンターの施設管理運転業務に関する請願書	総 務	採 択
請願第 2 号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元をはかるための、2026 年度政府予算に係る意見書採択の要請について	文教福祉	//

○意見書案

番 号	件 名	付託委員会	結 果
意見書案第 1 号	2025 年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書	付託省略	原案可決
意見書案第 2 号	ゆたかな学びの実現と教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	//	//

再配達を削減する取り組みを

問① 宅配ボックスの支援について
（1）戸建て住宅の宅配ボックス普及状況と、再配達に対する市の認識について伺う。
答 インターネットによる注文の増加や共働き等により日中不在にしている家庭も多く、再配達によるドライバーの負担が増えている状況である。
（2）二酸化炭素の削減とドライバーの働き方改善につながる支援として、宅配ボックスの設置助成は検討できないか。
答 本市においては宅配ボックス設置に対する助成制度はないが、他の自治体の事例を参考に調査・研究していく。
問② 公用車の管理について
（1）公用車を車検切れ状態で使っていたと新聞報道されたが、原因と対策について伺う。
答 年度当初のスケジュール入



多田羅純一 (宇佐みらいの会)

力を失念し、他の職員のチェック機能が働かず、車検切れが発覚した。対策として複数人によるパソコン上でのスケジュール管理、使用時における車検日の常時確認の徹底に加え、本庁行財政経営課が支所を含めて車検満了日前に通知を行い、実施後に報告し、再発防止に努める。
（2）県内の各自治体においてもテレビの受信機能が付いている公用車の「NHK受信料未払い」があり、多額の金額を支払っている。今後の対応について伺う。
答 カーナビ購入の際は特段の必要がない限り、テレビ受信機能のない機種を選定していく。
問③ うさし子育て応援企業認証制度について
（1）現在の登録数の状況は。
答 本年 6 月 1 日現在、市内 8 社を認証している。
（2）アピールはどのようにされているか。
答 市子育て支援サイト「うさここ」で制度の紹介を行うとともに市立地企業振興協議会の会員あてに制度のお知らせを送付している。
※その他の質問
・生活道路の安全対策について
・寄藻川の浚渫について

中学校制服購入補助金の創設を求める



赤野道和（日本共産党）

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しています。詳しくは、各質問者一二次元コードまたは議会のホームページからご視聴ください。

- 問① 後藤新市長の公約には、「制服など学校教育費を支援」という内容があった。竹田市では、家庭の経済的負担軽減を目的に、1万8千円を上限に助成している。本市でも来年度からの補助金の創設ができないか。
- 答 その必要性和意義については強く認識している。しかし、本市の財政状況は非常に厳しい状況にある。
- 問② 大分市では2月に官製談合防止法違反事件が起こり、特定の同和運動団体への「過度な配慮」が長年続いてきたことがわかった。足立市長の改革を参考に、本市として実施してきたことは何か。
- 答 運動団体に対して大分市のような「過度な配慮」となる対応は行っていない。
- 問③ 文科省は昨年度、体育館

- の避難所機能を強化する目的で、臨時の特例交付金を創設している。この補助金を活用して、条件のよい学校体育館から、整備していくべきではないか。
- 答 本市の体育館は、断熱性能が確保されておらず、改修工事を行った上で空調を設置する必要があることから、多額な経費を要する。
- 問④ 市の農業を守るために
- (1) 本市の米生産農家数、水稲作付面積、生産量は、2000年からどのくらい減少しているのか。
- 答 2000年の米生産農家数4967経営体、作付面積4454畝、生産量22780トに対して、2020年の米生産農家数は1733経営体、作付面積は3590畝、生産量は14800トと減少している。
- (2) 米不足を解決するには増産が必要で、増産のためには農家への所得補償をするべきだが。
- 答 国でも、農家の所得補償の在り方も含めて検討されている。
- (3) 農業予算の拡充を、国に働きかけるべきではないか。
- 答 全国市長会を通じて、国に対し具体的施策に係る予算措置の拡充等について要望を行っているところである。

新しい宇佐市に向けて



秀平信介（政友会）

- 問① 多くの市民が期待する「新しい宇佐市」に向けて最初に取り組むことは何か。
- 答 本市の財政状況は極めて厳しい。市民の信頼を得て、誠実に行政運営を進めるために、任期ごとの退職金を最後の期のみにする。既に事務処理を進めているところ。また、子育て応援祝金制度を今議会に提案した。
- 問② 本市の財政状況をどう分析しているか。
- 答 今後数年の動向については、市税や地方交付税等の歳入の伸びは見込めず、扶助費・人件費・物件費等の歳出は増加が見込まれるため、財政状況は更に厳しくなることが懸念される。持続可能な財政を維持するため、既存事業の抜本的な見直しと国や県の施策動向を見極めながら財源確保に努めていく必要がある。

- 問③ 急傾斜地崩壊対策事業の年間要望数と施工数は。
- 答 保全人家戸数が5戸以上は県が、5戸未満は市が実施。市営の事業については年間4件程度の申請があり、4〜6力所の対策工事を行っている。施工規模によっては複数年にわたって工事を行うこともあるため時間を要する場合がある。
- 問④ 地域商社USAの取り組みと手佐BOXの中身の決め方は。
- 答 市からの委託に基づき、ブランド認証品の掘り起こし支援や販売拠点の確保、プロモーションイベントの開催など。宇佐BOXはターゲットやテーマに応じた様々な詰め合わせを用意しており、保存温度帯や商品サイズ、価格等から総合的に判断して選出していると聞いている。
- 問⑤ 豊川小学校のグラウンドにフェンスを設置すべきでは。
- 答 フェンス設置の必要性は本市も認識している。既存校舎の長寿命化改修およびプール改修等に合わせて設置できればと考えている。
- ※その他の質問
- ・クラウドス号について
 - ・投票率向上と選挙啓発の取り組み
 - ・四日市商業地域の水害対策

高齢者の健康寿命延伸のために



衛藤義弘 (公明党)

問① 平和ミュージアム(仮称)建設について

(1) 思いが詰まった遺品・今日までの支出総額・九七式艦上攻撃機の今後の管理について市長へ問う。

答 遺品は約4000点、支出総額は3億5千3百万円であり、攻撃機は3年の潮抜きにより展示活用が可能で、引き上げ後は速やかに酸化防止が必要との意見を専門家から聞いている。基金が7億円あり、建設は可能だが、ランニングコストが掛かるため今後の財政運営を考えると非常に難しい。市民の賛成や反対の意見もあり庁内で検討し年内で結論を出していく。

入れるべきではないか。
答 多くの人からも、その辺の考えもお聞きしている。検討課題として考えていく。

問② 高齢者の肺炎予防で誤嚥性肺炎の死亡数が増えている。厚労省が認可したRSウイルスワクチンが昨年1月発売された。高齢者の場合、慢性肺疾患、慢性心疾患、腎機能障害、糖尿病など基礎疾患を持つ方が多いが、肺炎球菌ワクチンでは十分ではない。飛沫感染や接触感染で広がる病院や介護施設は危険が伴う。接種費用は高く、全額自己負担である。公費助成をすべきではないか。

答 RSウイルスワクチンは新しいワクチンである。国や県の動向を注視し、調査・研究する。

問③ 財政の改革は、固定費の年次計画を検討すべきでは。

答 財政構造の弾力性を確保し、DX化による事務の効率化、公共施設のあり方など固定費の抑制の精査に努める。

問④ 駅館川に堆積した土砂により河川が狭まり、ゲリラ豪雨等の発生で警戒レベルが高まっている。堆積物の除去の後押しを。

答 県は今年度、川部地区の約200m除去を予定している。

市政一般に対する質問

県道改良、麻生地区民40年の思い、県に届けて



中村明美 (政友会)

問① 県道宇佐本耶馬溪線麻生地区の狭小未改良区間は、40年ほど前から県や市に何度もお願いしたが、ほとんど整備されていない。改良実現に向けて市の真摯で前向きな対応を求めたい。

(1) 広域的観点から見ても重要な路線のはず。全面拡幅改良され、大型バスが通れるようになれば国東半島から耶馬溪までの観光やフレイル予防コースとしても新たな展開も考えられる。市はどう考えているのか。

答 指摘されたように県北における大規模災害時の迂回路の要素を含め、主要道路であることは県とも共通認識しているが、改修計画は未定である。市境の桜峠から宇佐市側約1.3kmの未整備区間について、改良か一部新道バイパス化するかなど関係機関や地元と十分な協議が必要と思われる。

(2) 県の所管とはいえ、隣接市との連携も重要だと思うが、そういう協議組織はあるのか。

答 現在、隣接する自治体との連携が必要な案件はない。必要であれば調整組織を立ち上げる。

(3) 「新しい宇佐」を唱える若い新市長の考えをお聞きしたい。

答 以前からの麻生地区からの要望を重く受け止め、市として県に要望していきたい。

問② 市教育センター「せせらぎ教室」の取り組みについて

(1) 市内の不登校児童生徒に対する支援組織であるが、受け入れ体制や実態はどうなのか。

答 現在3名の教員と職員で対応しているが、地域の方を講師にしたリズム運動や調理・野菜栽培等も行っている。

(2) 市内には、おおいた食育人材バンクに登録している専門的資格を持たれた方がいる。5教科を越えた教養や知識の習得に、地域の隠れた人材を広く求め、活用してはどうか。

答 社会的自立のために外に出て学ぶ事が重要だと保護者の方にも願っている。目的実現に向けてぜひとも手段の一つとして前向きに捉えていきたい。

年内に方向性を示す「学校選択制と統廃合」



河野洋一（心政会）

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しています。詳しくは、各質問者一次元コードまたは議会のホームページからご視聴ください。

問① 「教育を語る会」が小規模校11校区において開催された。住民からの意見や要望に対して、どのように総括しているのか。

答 保護者を中心に据えた議論が必要であり、周辺部対策と合わせて市全体の課題として進めてほしい等の意見を受け、早期に市としての方向性を示すべきと考えている。寄せられた意見は、適正規模・適正配置を検討する重要な資料として活用する。

問② 周辺地域、中学校区内、新1年生から、といった「特定地域選択制」が来年度から導入される可能性を再度伺う。

答 今後、実施する「適正規模・適正配置等検討委員会」の協議を踏まえ、来年度入学児と保護者が安心して入学できるよう、市教委として一定の方向性を示していく。

問③ 日本型直接支払制度をフル活用した農業・農村の活性化

(1) 中山間地域等直接支払制度第6期対策によると、新たにネットワーク化活動計画（協定内面積10畝以上）を策定しないと8割しか交付されないことから、集落内の力量では計画策定ができないと諦め、解散の動きも見られる。本状況を阻止するには行政の役割と期待は大きい。が、どのように対処していくのか。

答 全集落を対象にヒアリングを実施し、不安解消に努めてきた。継続の意向の低い集落に対しては、有効活用が図れるよう丁寧な説明に努めていく。

(2) 基幹産業を支援し、集落環境を守る農政の力は、さらに重要視されなければならない。本庁と支所に核となる人材の育成、配置が必要。「新しい宇佐市」を目指す市の見解を伺う。

答 本庁には市全体の取りまとめと施策に精通し、制度の適用拡大を図る役割、支所には集落や農家に寄り添い、丁寧な支援ができる体制が望ましいため、職員の資質向上と支援体制の強化に努めていく。

※その他の質問

・中山間地域の定住促進対策

小中学校施設の老朽化について



川谷正一（求道会）

問① 学校施設の老朽化について

(1) 本市の小中学校の体育館やトイレ、校舎の外装・天井・手すりなど老朽化に伴う改修の必要性はどのように調査しているのか。また、職員の目視だけでは危険性を確認できず事故に至る心配はないのか。

答 調査については「市学校施設長寿命化計画」策定時にコンサル業者による目視調査および建築基準法に基づく定期調査において資格を持った職員による調査を実施している。

(2) 本市の学校施設で、老朽化により雨漏りなどの子どもたちの教育環境の整備が必要な学校施設はどのくらいあるのか。

答 現在、雨漏りがある学校は小学校14校、中学校で2校ある。その他、教育環境整備が必要な

学校が数多くある。

(3) 本市の学校施設で、老朽化に対する今後の整備計画はどうなっているのか。

答 予算の範囲内で順次修繕等にて対応している。今後も「市学校施設長寿命化計画」に基づき、改修等の方向性および劣化状況評価等により事業計画を策定し、進める。

問② 農業について、従来の人・農地プランが「地域計画」として位置づけられた。地域の関係者や農業者が話し合いを行い、中心的経営体の見直しなどを盛り込んだ目標地図等を作成し、地域における10年後の農業経営の可視化が目的といわれる「地域計画」であるが、特に本市の農地面積の多くを占める中山間地域の農業を守るものなのか。

答 今回の地域計画策定に求められるものとしては、第1に地域の担い手を中心とした協議の場の開催、第2に一定地域範囲の規定、第3に10年後の耕作者を地権者合意のもと割り当てた目標地図の作成となっている。令和6年度末に292の行政区をカバーする地域計画の策定を完了したところである。

新しい宇佐市に期待すること



園田経人 (民政会)

問① 意見交換会にて市民の皆さまから寄せられた、新市長に尋ねたいこと。

(1) 規模適正化や財政負担も踏まえた、今後の学校の在り方について

答 学校施設の老朽化対策など、今後も多大な財政負担が見込まれる中、保護者や地域住民のご意見を丁寧に向いながら、教育の質と持続可能性を両立させる適正規模・適正配置の方針を作成していく。

(2) 増加する外国人への足りない住居問題について

答 公営の空き住宅を活用し、公共住江団地6戸を提供し、現在5戸に16人が居住している。

(3) 管理者がいなくなった空き家などへの対策と利活用について

答 空き家バンク登録の促進が

有効と捉えており、昨年度より物件所有者を対象に、家財道具の処分等にかかる経費を一部助成する制度を追加し、10件の新規登録につながった。

(4) 水道のない地域への水道事業および下水道事業の今後の方針や方向性について

答 現状、給水区域の見直し予定はないが、見直しを望む声があることも認識しており、手法や費用、年数など県下の状況を踏まえ、調査・研究していく。下水道管路の整備は長い年月と多額の費用を要するため、計画区域の見直しも含めて調査・研究していく。

(5) 観光振興、外へ向けての宇佐市のPR強化について

答 令和7年を本市の観光元年とすべく、現在、公約の一つであった徹底したメディア戦略による観光振興の一環として、首都圏および海外における新たな観光プロモーション企画を県や関係機関と連携して進めている。

※その他の質問

・都市計画の見直しについて

・部局横断的な組織に向けた官民共同の施策検討組織づくりについて

・生活困窮世帯について など

市政一般に対する質問

住みよい街づくりについて



吉田泰秀 (求道会)

問① 漁業者支援に関して
(1) 燃料高騰の影響を受け、売り上げも上がらず大変厳しい状況にある。物価高騰対策として支援できないか。

答 本年4月から12月までの漁船操業および海苔製造にかかる燃油代について1畝当たり30円を補助する漁業燃油価格高騰対策事業に係る補正予算案を既に今議会に提出している。

(2) 魚価をあげるため長洲の魚をアピールできないか。

答 ふるさと納税返礼品への出品など、様々な取り組みを通してPRに努めていく。

問② 宇佐宮御鎮座1300年に関して、今後の企画やタイムスケジュールは。

答 「新婚さんいらっしゃい」の公開収録が8月に開催される予定となっている。なお、10月

に予定されている勅祭と古代宇佐時代祭については、詳細がまだ定まっていないものの企画や準備が進められていると認識している。

問③ 後藤市長が選挙公約で物価高騰対策として市民一人1万円、子育て世代に段階的であるが100万円を給付するとある。物価高騰により生活が苦しい中、この公約にとっても関心を持っている。

(1) どのタイミングで給付を考えているのか。

答 選挙公約の一つである「地域振興券」については、厳しい財政状況ではあるが、できる限り早期の給付を目指していく。また子育て世代への給付については100万円相当の支援となるよう段階的に行っていく。

(2) この給付を行うにあたって毎年どのくらいの財源が必要か。

答 全市民に1万円の地域振興券を配布するには、単純計算で約5億円と事務経費などに約2000万円の財源が必要と考えられている。子育て世代への支援については、今後の制度設計によって算出されるものと考えている。

一人1万円の振興券を早急に



今石靖代（日本共産党）

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しています。詳しくは、各質問者一二次元コードまたは議会のホームページからご視聴ください。

空白地帯である。中心地循環バスを先行して実施を。

答 総合的に判断しながら、利便性向上に取り組んでいく。

(2) 高齢者の交通料金の均一化を実施し外出支援を。

答 財政負担が年々増加しており、調査・研究していく。

(3) シニアカーへの補助を。また、運転免許返納時の1万円の使途を広げられないか。

答 補助制度は考えていない。1万円は交通用具に使える。

問④ 今年初めてオーガニック給食の日が実施された。オーガニック給食を進めるためには農政との連携が必要。県下で3市となった「オーガニックビレッジ宣言」の実施を。

答 環境や健康への意識を高める点で大きな意義はあるものの、慎重な研究が必要と考えている。今後、生産者へ意見を聞きたい。

問⑤ 県下では近年、殺処分される犬、猫が9割以上減った。県下14市で不妊・去勢手術へ助成制度がないのは本市のみであり、取り組むべきでは。

答 独自の支援は、保護猫活動をしている団体や市民の意見も聞いて調査・研究していきたい。

問③ 交通手段の確保対策

答 個人の資産形成につながるので慎重な判断が必要である。

問③ 交通手段の確保対策

上田・四日市線周辺が交通

スポーツでまちに活力・教育環境改善を



松原 仁（誠和会）

問① スポーツでまちに活力を
(1) 総合運動場の多目的競技場を全面人工芝にして、今ある施設の最大活用が必要では。

答 本施設の人工芝化については、様々な競技に対応することや、平成令和の森の陸上競技場で既に人工芝化されていることもあり、具体的な整備計画はない。今後、市全体のスポーツ施設の在り方、バランスを考えた上で整備の方向性を考えていく。

(2) 総合運動場の名称を「運動公園」へ変更することで名称や制度上の制約の緩和で地域イベントの開催やキッチンカーなどの出店が可能になり、「スポーツ×観光×商業」の推進になる

と考えるが、市の考えは。

答 慣れ親しんだ名称の変更は考えていないが、地域イベント等の実施のニーズがあることは

認識しているので、制約を緩和することで、対応していきたい。

(3) 西大堀地区公園の市の見解や進捗状況は。テニスコートの施設について、移動式のネットなどでの他のスポーツやイベント使用等の多面的な使用での地域活性化計画はあるのか。

答 現在、温浴室・トレーニング室等が既に完成している。今後、テニスコートや芝生広場を予定している。テニスコートは、10面にすることで、県大会レベルの大会開催が一つの目的であるが、交流の場など多面的な使用の可能性も含め考えていく。

(4) 旧ポリテク、西部中学校跡地を整備し、野球グラウンドとして試合や大会開催が可能な施設としての活用を考えては。

答 新たな整備は困難な状況にあるが、その必要性の調査・研究を進める。

問② 教育環境について
市内小中学校体育館への空調設置の可能性について伺う。

答 体育館の空調設備については、今後の学校の適正規模適正配置の構想と体育館の長寿命化改修計画に合わせて協議していく。

※その他の質問
・学校校庭の照明設置について

・学校校庭の照明設置について

体育館に空調設備を！



水脇純一(宇佐みらいの会)

- 問① 教職員の配置について**
 (1) 今年度の市内小中学校の教職員の定数配置の状況は。
答 県費負担教職員が、欠員1名である。市費負担教職員は、予定数の配置ができています。
- (2) 特別支援教育支援員の実態把握と対応はできているのか。**
答 実態に基づき支援員を43名配置している。教育効果は広く認知され、更なる支援体制の構築に向けていく。
- 問② 体育館の空調について**
 (1) 体育館での授業や活動の際、現状では熱中症の危険度が高い。また、災害時の通常避難所となっている所も6力所ある。順次、設置はできないか。
答 必要性は認識しているが、断熱改修工事が必要のため設置に多額の経費を要する。避難所になっている所は、国の補助金

- の有効活用を協議していく。
- (2) スポットクーラーの設置について昨年度質問したが、進捗状況はどうなっているのか。**
答 今年度2台購入した。今後、導入テストを行い、本格導入について調査・研究していく。
- 問③ 多文化共生について**
 (1) 市内外国籍住民の直近3年間の推移と取り組みは。
答 令和7年は1254人で令和5年より324人増えている。生活支援、地域づくりなどの共生事業を推進している。
- (2) 日本語教室の有効性や実情について見解を伺う。**
答 ボランティア団体が精力的にきめ細かな教育を実践しており、継続的な支援が必要であると認識している。
- 問④ 高家ごみ焼却センターの跡地活用について**
 (1) 新ごみ処理施設供用開始に伴い解体すると聞いたが、計画はどうなっているのか。
答 稼働を停止し、令和9年度に解体する予定である。
- (2) 跡地の活用についてどのように考えているのか。**
答 用地の約80%が国有地である。地域住民等の意見を聞きながら国と協議をしていく。

市政一般に対する質問

身寄りのない高齢者等への支援を周知・充実へ



岡部輝明(宇佐みらいの会)

- 問① 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2050年には高齢の単独世帯が大きく増え、そのうち未婚率は42・4%になるとのこと。したがって、病院や施設に入る際の手続き支援、葬儀や納骨など死亡後の事務手続き支援など、身寄りのない高齢者等への支援を検討すべきではないか。**
答 病院や施設に入る際の支援については、成年後見制度を利用することで契約や支払い等を行うことができる。また、葬儀や納骨、遺品の整理など死亡後の支援については、5月から社協が「死後事務委任事業」を開始し、周知をはじめたところである。今後も単身世帯の増加が見込まれることから、支援策の研究と充実に取り組んでいく。
- 問② 用途廃止とした空きの市**

- 営住宅は老朽化や白蟻被害、雑草繁茂、害獣の棲みつき、人の侵入などの恐れがあり、速やかに撤去されれば良いが、それまでの管理も適正に行われるべきかどうか。
- 答** 現在すべて空室となっている団地数は5団地30戸である。このような団地については、破損物の飛散防止のため防護ネットや侵入防止のための防護柵を設置するとともに、草刈りや樹木伐採、白蟻駆除など適正な管理に努めている。用途廃止とした団地は老朽化の状況と緊急性を勘案しながら撤去を進める。
- 問③ 令和5年度決算では、一般会計から下水道会計へ7億2000万円を繰出しているが、公営企業としてどう評価しているか。また、今後の経営戦略は。**
答 本市の下水道事業は、使用料収入だけでは運営資金が確保できない非常に厳しい経営状況である。特に、過去の処理場建設や管路布設などの設備投資で借り入れた企業債の返済のため、一般会計からの補てんを受けている。今後、収入面の改善、維持管理費の縮減のみならず、計画区域のあり方を含め調査・研究していく。

「厳しい財政」事業見直しが必要



辛島光司（求道会）

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しています。詳しくは、各質問者一次元コードまたは議会のホームページから視聴ください。

問① 新市長となり、本市の財政について率直な感想は。

答 「大変厳しい」が、率直な感想。令和6年度決算の経常収支比率が99%近くになるのではないかと危惧している。

問② 本市は、子ども・子育て施策を手厚く実施してきたが、少子化や共働き世帯の増加など、社会情勢の変化等により、目標（想定）値と実態が乖離している事業や施策がある。現状に合った予算・規模の事業かどうか、PDCAの『C（チェック）』と『A（改善）』が非常に重要ではないか。

答 確かに、目標値とかけ離れた数値の事業もある。しっかりとチェックを行い、実態に合った規模・予算に見直していく。

問③ 市内外の高校へ通う生徒数

と推移は。

答 市内に通う割合は、令和2年の66%から令和7年の61%と推移している。

(2) 理由としては、宇佐高校の場合は立地の問題、交通事情の問題が主な理由だと考える。

少子高齢化の他市の先進地では、地元高校へのスクールバスを市が運行している。本市も真剣に検討するべき時期ではないか。

答 令和元年から公共交通が走っていない天津地区から宇佐高校まで、コミュニティバス未来号を運行している。公共交通事業との兼ね合いを考慮しながら、検討していきたい。

問④ 今年度から中学生の短期ハワイ留学事業、募集人員が昨年までの20名から10名となった。国際交流を体験したいとの思いで申請した約20名が抽選漏れとなった。国際交流に意欲を持った学生に代替となるフォローを考えているのか。

答 残念ながら抽選に漏れた中学生にも、国際交流、異文化交流に触れてもらうことは重要だと認識している。今後、考えていきたい。

誰もが安心して暮らせるために



川谷光紹（求道会）

問① 地域のために

(1) 後藤市政が始まった。財政が危機的状況に直面しているとのことだが、経常収支比率が急激に上昇した要因と、今後の見通しおよび適正な経常収支比率に向けた取り組みについて伺う。

答 経常収支比率は、一般財源に占める人件費、扶助費等の義務的な支出の割合のこと。平成28年度以降の合併特例措置の終了による普通交付税の減少や、社会保障関係費等の増加、物価高騰による物件費の増加により経常収支比率が増加している。5年後までを常に推計しているが、令和10年度が99.3%、令和11年度は97.3%の予測。今後は、既存事業の抜本的な見直しと、国や県の施策動向を見極めて財源確保に努めたい。

(2) 公約で掲げた全市民への1

万円の地域振興券の配布を含め、1期目で実現したい政策および中長期的な政策を伺う。

答 地域振興券の配布については、早期に実現したい。市長退職金の改定は、準備を進めている。具体的な政策は、今後策定する「第三次宇佐市総合計画」に盛り込み実施時期を決定する。

(3) 市民の生活が厳しい中で、民生委員の役割は大きい。国の基準以上に世帯を受け持っている民生委員は24名で、最大は基準の3倍以上の862世帯となっている。民生委員協議会と改善に向けて協議しては。

答 これまでの経過などがあり、世帯数のみでは判断できない。12月の一斉改選に向け、現在の配置数で進めている。

問② 子どもたちのために
市長選公開討論会のなかで、既存の子育て支援に上乗せして、子ども一人に100万円の支援を公約にしていたが、目標の時期と財源について伺う。

答 既存の施策と組み合わせる100万円相当の支援となるように、段階的に行いたい。

【その他の質問】

・高齢者スポーツ推進について
・学校の適正配置について

地域猫活動に対する理解と支援を



河野健治朗（心風会）

問① 飼い主のいない猫に関する問題を地域の生活環境問題と捉え、地域住民が主体となって取り組んでいる地域猫活動に対する本市の見解は。

答 本市では、野良猫によるトラブルに対し、室内飼育の推奨や不妊・去勢手術の徹底について啓発するとともに、無責任な餌やりについても注意喚起している。地域猫活動については、中途半端なものではなく、地域住民と共生を図りながらの包括的な活動であるべきと考えている。なお、市独自の支援については、地域猫活動団体の動向や市民の要望等を踏まえ、他の自治体の事例を参考に支援策について調査・研究していく。

連携させた幅広い活用が期待できる。現段階でどのように評価しているか。

答 本来の目的である資金の地域内循環のほかに行政サービスとの連携による事務の効率化、交通施策や観光施策にも活用されている先進事例があり、地域経済の活性化や自治体DXの推進に効果が見込まれると考えている。

問③ 地域通貨導入の可能性について伺う。

答 大きなメリットがある一方で、導入・運用に伴う費用対効果の見極めや、参加事業者の確保、セキュリティ対策などさまざまな課題がある。今後、国の交付金などを活用した財源確保の協議や、先進自治体、県内自治体などの情報収集を積極的に行い、市内商工団体とも連携して調査・研究を進める。

問④ 物価高騰は事業者にも大きな影響を与えている。本市の経済状況の認識と新たな経済対策について伺う。

答 市内の事業者は厳しい状況に置かれていると認識している。新たな経済対策を今回の6月議会に提案している。

市政一般に対する質問

「第8回 宇佐市高校生議会」を開催しました

宇佐市高校生議会は、次代を担う高校生が、「住みやすく、魅力あるまちづくり施策」について調査・研究し、日常生活の中で市政に対して感じた疑問や希望について市長等と意見交換することにより、住んでいる地域への関心を高め、政治や社会に対する参加意識の向上を図ることを目的としています。

7月23日（水）に市議会議場で市内5校（さくら国際高校、宇佐高校、宇佐産業科学高校、安心院高校、柳ヶ浦高校）から21名の参加をいただきました。

高校生議員の皆さん、貴重なご意見ありがとうございました。

高校生議会の模様と詳しい質問内容は、二次元コードまたは議会のホームページでご覧になれます。

高校生議員の皆さん			
さくら国際高校			
1番 元吉 晟也	議員	2番 小幡 謙心	議員
3番 佐藤 康介	議員	4番 佐々浦 永遠	議員
宇佐高校			
5番 高橋 諒	議員	6番 小野 涼夏	議員
7番 藤川 拓	議員	8番 清永 紗希	議員
宇佐産業科学高校			
9番 松永 星菜	議員	10番 山村 涼佑	議員
11番 村上 妃那	議員	12番 高橋 朱玲忍	議員
13番 古川 竜之介	議員		
安心院高校			
14番 遠嶋 崇人	議員	15番 中山 遙人	議員
16番 安部 陽満里	議員	17番 五十嵐 もこ	議員
柳ヶ浦高校			
18番 江島 和寿	議員	19番 葉真寺 美結	議員
20番 古賀 綺良々	議員	21番 村坂 心	議員



さくら国際高校
宇佐高校
宇佐産業科学高校



安心院高校
柳ヶ浦高校

新たな議会運営委員会委員、常任委員会委員が決まりました

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の会期・議事日程など議会の運営に関する事項を協議し、議長の諮問事項に関する調査を行う機関として設置されています。

- ◎吉田 泰秀
- 河野 健治朗
- 川谷 光紹
- 秀平 信介
- 多田 羅純一
- 河野 睦夫
- 岡部 輝明
- 衛藤 博幸

常任委員会

議案等が多岐にわたるため、専門的かつ部門別に審査を分担し、詳細な審査を行う機関として常任委員会が設置されています。

本市議会では「総務」「文教福祉」「産業建設」の3つの常任委員会で構成しています。

各常任委員会の委員構成は、次のとおりです。

◎は委員長、○は副委員長。(氏名の下の())は年齢(8/25現在)、写真下は会派名(小学校区)、写真は委員席順)

産業建設
常任委員会

◎多田羅純一(55)

宇佐みらいの会
糸口

園田経人(50)

民政会
天津

○川谷正二(56)

求道会
横山

大隈尚人(69)

政友会
院内北部

秀平信介(47)

政友会
四日市北

永松 郁(66)

求道会
北馬城

中村明美(77)

政友会
高家

文教福祉
常任委員会

◎河野健治朗(51)

心風会
駅館

今石靖代(62)

日本共産党
糸口

○水脇純一(63)

宇佐みらいの会
院内中部

松原 仁(38)

誠和会
四日市南

衛藤義弘(69)

公明党
四日市北

河野睦夫(58)

政友会
南院内

総務
常任委員会

◎川谷光紹(50)

求道会
四日市南

吉田泰秀(51)

求道会
長洲

○岡部輝明(63)

宇佐みらいの会
宇佐

辛島光司(54)

求道会
和間

赤野道和(65)

日本共産党
深見

河野洋一(63)

心政会
津房

衛藤博幸(74)

政友会
安心院

議会活性化特別委員会委員の紹介

今号から新しいメンバーで議会広報紙「うさ議会」を編集します。

「うさ議会」は、市民の皆さまにもっと議会に興味を持っていただくため、議員の立場から議会報告を行う役割を持っています。わかりやすい内容に心掛けながら、年4回開催される定例会ごとに発行していきます。

構成委員は、各常任委員会から選出された次の8名です。

◎河野 洋一
○秀平 信介
水脇 純一
松原 仁
園田 経人
赤野 道和
岡部 輝明
川谷 正一

◎委員長 ○副委員長

編集後記

今議会では後藤市長の「新しい宇佐市」に対して、本市の財政状況や平和ミュージアム(仮称)、子育て支援や学校の適正配置の問題など、多くの課題が質問されています。この編集後記まで読んでいただければ担当議員一同大変うれしく思います。

また、今号から新しいメンバーで編集をしています。委員長に河野洋一議員、副委員長は私です。前期に引き続き、見やすい構成・わかりやすい内容を心掛けて制作していきますので、今後ともどうぞよろしく願います。

(秀平 信介)

《9月定例会の予定》

- | | | | |
|--------------|---------|------|----------------------|
| 9/2 | (開会日) | 9/18 | 常任委員会の審査(文教福祉・産業建設) |
| | 提案理由の説明 | 9/19 | 常任委員会の審査(総務) |
| 9/9・10・11・12 | 一般質問 | 9/25 | (閉会日) |
| 9/17 | 議案質疑 | | 委員会の審査報告
質疑、討論、採決 |